

第6回世界のウチナーンチュ大会 第2回実行委員会

日時：平成27年10月27日（火）
15：30～16：30
場所：沖縄ハーバービューホテル
「彩海の間」

----- 会議次第 -----

進行：第6回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会事務局 与那嶺 隆

- 1 開 会
- 2 知事あいさつ
- 3 経過報告
- 4 議 事
 - 第1号議案 第6回世界のウチナーンチュ大会実行委員会規約の一部改正
 - 第2号議案 第6回世界のウチナーンチュ大会 基本コンセプト
 - 第3号議案 第6回世界のウチナーンチュ大会 事業計画書
 - 第4号議案 専決処分の承認

5 1年前残暦板除幕

6 テーマソング披露

7 閉 会

* 別添資料：

資料1：経過報告関連資料

資料2：基本コンセプト作成関連資料

第 6 回 世界 の ウチ ナ ー ン チ ュ 大 会

議 案 書

第 1 号 議 案

第 6 回 世界 の ウチ ナ ー ン チ ュ 大 会 実 行 委 員 会 規 約 の 一 部 改 正

第 2 号 議 案

第 6 回 世界 の ウチ ナ ー ン チ ュ 大 会 実 行 委 員 会 基 本 コ ン セ プ ト

第 3 号 議 案

第 6 回 世界 の ウチ ナ ー ン チ ュ 大 会 実 行 委 員 会 事 業 計 画 書

第 4 号 議 案

専 決 処 分 の 承 認

第1号議案

第6回世界のウチナーンチュ大会実行委員会規約の一部を改正する規約（案）

第6回世界のウチナーンチュ大会実行委員会規約（平成27年6月12日施行）の一部を次のように改正する。

別表1中「

138	委員	沖縄県	土木建築部長
-----	----	-----	--------

」の次に

「

139	委員	国際ロータリー第2580地区沖縄分区	ガバナー補佐
-----	----	--------------------	--------

」

を加える。

附 則

この規約は、平成27年10月27日から施行する。

理 由

第6回世界のウチナーンチュ大会をより全県的なイベントとして取り組んでいくため、国際交流の分野から1名新たに実行委員会委員に追加で就任して頂くことに伴い、規約の一部を改正する必要がある。

第2号議案

第6回世界のウチナンチュ大会 基本コンセプト

1. 大会開催の理念

これまでの5回にわたる世界のウチナンチュ大会では、世界に雄飛した県系人の功績を称えるとともに、ウチナーネットワークの確立、発展を目指して、文化、経済、人材育成、スポーツなどの各分野で、世界のウチナンチュと県民との交流を通じた様々な取り組みがなされてきた。

第1回、第2回大会は、ウチナンチュの人的ネットワークを確立し、それを沖縄にゆかりのある人々も結びつけた国際交流ネットワークとして拡大、発展させることを目的として開催した。1世紀を超える移民の歴史を経た世代交代の中で、沖縄アイデンティティの継承が海外の県系人コミュニティにおいて大きな課題となる中、第3回、第4回大会では、次世代への沖縄アイデンティティやウチナーネットワークの継承を強く意識した取組がなされてきた。

こうした中、前回の第5回大会を機に発足した世界若者ウチナンチュ連合会は、大会の翌年から毎年海外で「世界若者ウチナンチュ大会」を開催し、ウチナーネットワークを次世代へ継承する原動力として欠かせない存在となりつつある。第6回大会においても、次世代への継承は大きなテーマの一つとして、取組を充実させる必要がある。

海外における沖縄アイデンティティは、主に県人会などの伝統芸能や三線、空手、その他の様々な文化活動を通して次世代へと継承されていることに鑑み、第6回大会では、沖縄独自の文化や風土、歴史、いわゆるソフトパワーの魅力を県民が再認識するとともに、移民の歴史やウチナーネットワークの重要性とその拡大、発展に大会が果たしてきた役割について、広く県民へアピールできる取組を推進したい。

本大会の理念は、これらの取り組みを通し、「沖縄独自のソフトパワーを国内外に発信し、その魅力と可能性を活用して沖縄の未来を切り開いていくこと」とする。

2. 大会の目的

「第6回世界のウチナンチュ大会」は、以下の基本方針に基づいた事業を行うことにより、ウチナーネットワークを持続的に継承、発展させるとともに、沖縄独自のソフトパワーを国内外に発信し、その魅力と可能性を活用して沖縄の未来を切り開いていくことを目的として開催する。

【基本方針】

- (1) 世界のウチナーンチュの交流を通してウチナーネットワークを発展させ次世代へ継承する。
- (2) 沖縄独自のソフトパワーへの理解を深め、国内外へ発信する。
- (3) 万国津梁の精神を次世代へ継承し、海外への飛躍を促進する。

3 イベントプログラム目標

- 1 ウチナーネットワークを維持、継承、拡大し、ウチナーンチュ同士の絆を深め、アイデンティティを確認する

例示 前夜祭パレード、開会式、閉会式、グランドフィナーレ、市町村歓迎会、移民資料展、文化芸能交流イベント、スポーツ交流イベント

- 2 沖縄独自のソフトパワー（文化、伝統芸能、歴史、言語、風習、風土、信仰、自然）への理解を深め、次世代へ継承、発展させる

例示 三線、琉球舞踊、空手、組踊、エイサー等伝統芸能鑑賞会、移民資料展、首里城祭、しまくとぅば語やびら大会、ビジネスフェア

- 3 県内若者が県外海外に目を向けるきっかけを提供し、海外への飛躍を促す

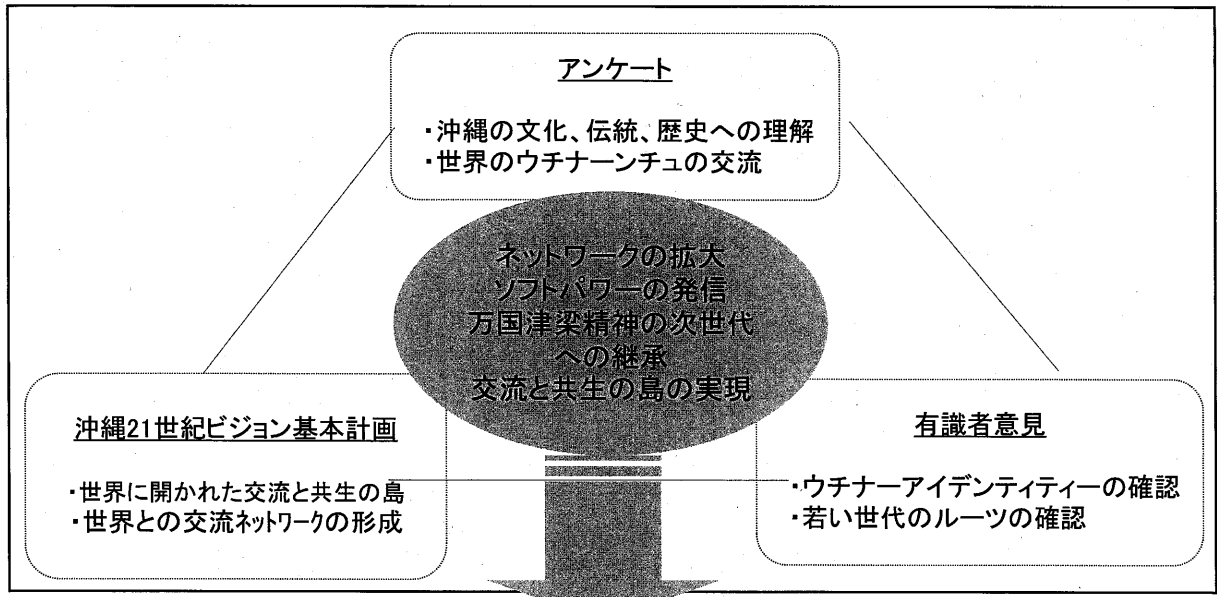
例示 ジュニアスタディーツアー、海邦養秀ネットワーク構築事業、世界若者ウチナーンチュ大会、レッツスタディールワールドウチナーンチュ、海外移住者講演会

- 4 異文化、世界の多様な価値観に対する理解を深め、国際協力、平和を希求する沖縄の心（チムグクル）を発信する

例示 レッツスタディールワールドウチナーンチュ、ワールドバザール、チャンプルー交流祭、世界・平和・未来展、平和体験・植樹ツアー、沖縄平和賞授賞式

- 5 国際観光地としての「オキナワ」や県産品の魅力を理解する

例示 産業まつり、ビジネスフェア、市町村観光案内

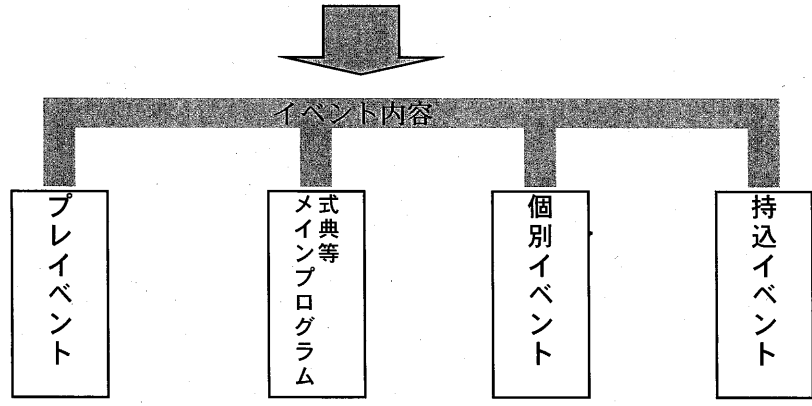


第6回世界のウチナーンチュ大会

大会目的 「第6回世界のウチナーンチュ大会」は、以下の基本方針に基づいた事業を行うことにより、ウチナーネットワークを持続的に継承、発展させるとともに、沖縄独自のソフトパワーを国内外に発信し、その魅力と可能性を活用して沖縄の未来を切り開いていくことを目的として開催する。

- 基本方針**
- (1) 世界のウチナーンチュの交流を通してウチナーネットワークを発展させ次世代へ継承する
 - (2) 沖縄独自のソフトパワーへの理解を深め、国内外に発信する
 - (3) 万国津梁の精神を次世代に継承し、海外への飛躍を促進する

- イベントプログラム目標**
- 1 ウチナーネットワークを維持、継承、拡大し、ウチナーンチュ同士の絆を深め、アイデンティティーを確認する
 - 2 沖縄独自のソフトパワー（文化、伝統芸能、歴史、言語、風習、風土、信仰、自然）への理解を深め、次世代へ継承、発展させる
 - 3 県内若者が県外海外に目を向けるきっかけを提供し、海外への飛躍を促す
 - 4 異文化、世界の多様な価値観に対する理解を深め、国際協力、平和を希求する沖縄の心（チムグクル）を発信する
 - 5 国際観光地としての「オキナワ」や県産品の魅力を理解する



第3号議案

第6回世界のウチナーンチュ大会 事業計画書

1 開催日程

- (1) 前夜祭：平成28年10月26日（水）
- (2) 本大会：平成28年10月27日（木）～30日（日）

2 主な会場

沖縄セルラースタジアム那覇、沖縄コンベンションセンター、沖縄県立武道館、奥武山総合運動公園、自治会館、那覇市民会館等

3 大会参加者

海外参加者：約5,000人 国内参加者：約500人 延べ入場者数：約35万人

4 事業内容

(1) イベント

① プレイイベント

- ・レッツスタディー！ワールドウチナーンチュ（一校一国運動）
- ・ウチナージュニアスタディー
- ・海邦養秀ネットワーク構築事業

② 前夜祭パレード・歓迎レセプション

③ メインプログラム（式典等プログラム）

- ・海外功労者等表彰式
- ・開会式
- ・閉会式
- ・グランドフィナーレ

④ 連携イベント

- ・首里城祭（首里城祭実行委員会主催）
- ・しまくとぅば関連イベント（沖縄県文化協会主催）
- ・移民資料展示イベント（沖縄県立博物館・美術館主催）
- ・エイサー関連イベント
- ・空手関連イベント（沖縄県文化振興課主催）
- ・第5回世界若者ウチナーンチュ大会（世界若者ウチナーンチュ連合会主催）

⑤ イベントプログラム

海外・国内参加者と県民の交流を通して沖縄の魅力をともに確認し、次世代の担い手を育成するイベントを実施する。海外参加者を楽しませ、県民にも大会の意義を広く知らしめるイベントとする。

(例) チャンプルー交流祭、ワールドバザール、ウチナーンチュシンポジウム等

⑥持込イベント

大会の目的、基本方針に基づくイベント企画を広く一般から公募し、採択基準に基づき審査、選定を行い、実施に向け支援する。

(2) 広報宣伝

- ・マスコットキャラクター、テーマソング、シンボルマーク（ロゴ）、キャッチフレーズの作成
- ・横断幕、チラシ、ポスター、ステッカー、記念バッジの作成
- ・県内外広報及び海外キャラバン隊の派遣
- ・各種広報イベント（200日前、100日前、直前イベント等）
- ・ホームページの開設、運用

(3) 招待事業

- ・国内及び海外参加者の参加意向の確認と受入
- ・招待者（県内・県外・海外）の選定及び受入
- ・VIP招待者の選定及び受入
- ・国内及び海外参加者のデータ管理
- ・お土産品の選定、購入、配布

5 協賛・寄付

(1) 協賛

大会広報、イベントプログラムに各種協賛を積極的に導入し、効率・効果的な事業の運営を図る。

(2) 寄付

大会の成功に向け、県民の篤志を受けることで全県的展開を図る。

6 推進体制

(1) 主催

沖縄県

(2) 共催

（公財）沖縄県国際交流人材育成財団、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

(3) 後援（予定）

内閣府沖縄総合事務局、国関係機関、独立行政法人国際協力機構、国際交流基金、（財）海外日系人協会、（社）日本外交協会、関係国大使館、県内マスコミ各社等

(4) 協賛（予定）

県内外企業、航空会社等

(5) 実行組織

第6回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

第 4 号議案

専決処分の承認

第 6 回世界のウチナーンチュ大会実行委員会規約第 9 条第 1 項の規定により別紙のとおり専決処分したので、同条第 2 項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

平成 2 7 年 1 0 月 2 7 日

第 6 回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会会長 翁長 雄志

専決処分書

第6回世界のウチナーンチュ大会実行委員会規約第9条第1項により会議を招集する暇がないと認め、次の通り専決処分する。

平成27年度第6回世界のウチナーンチュ大会実行委員会予算流用

平成27年度第6回世界のウチナーンチュ大会実行委員会の予算流用は次に定めるところによる。

(歳出予算の流用)

- 第1条 既定の歳出予算の委託費から報償費へ1,114,000円を流用し、報償費総額を1,114,000円とする。
- 2 同じく委託費から需用費へ986,000円を流用し、需用費総額を2,509,000円とする。
- 3 同じく委託費から役務費へ492,000円を流用し、役務費総額を1,285,000円とする。
- 4 流用後の委託費総額を12,413,000円とする。
- 5 歳出予算の流用の区分及び区分ごとの金額並びに流用後の歳出予算の金額は、「別表 歳出予算流用」による。

歳出予算流用

1 予 算 歳出の部

(単位：千円)

費 目	流用前の額	流用額	計
報 酬	0	0	0
共 済 費	1 5 0	0	1 5 0
賃 金	9 0 0	0	9 0 0
報 償 費	0	1, 1 1 4	1, 1 1 4
旅 費	4, 7 6 5	0	4, 7 6 5
需 用 費	1, 5 2 3	9 8 6	2, 5 0 9
役 務 費	7 9 3	4 9 2	1, 2 8 5
委 託 料	1 5, 0 0 5	▲ 2, 5 9 2	1 2, 4 1 3
使用料及び賃借料	6 7 3	0	6 7 3
備 品 購 入 費	1 9 3	0	1 9 3
計	2 4, 0 0 2	0	2 4, 0 0 2